

組織名	一般財団法人飛騨高山大学連携センター
-----	--------------------

1 組織概要

所在地	岐阜県高山市千島町900番地1
TEL	0577-57-5366
FAX	0577-57-5377
URL	https://www.renkei-center.jp/
e-mail	hidatakayama@renkei-center.jp
設立	2017年6月29日
設置都市等	岐阜県高山市
代表者	田中明(理事長・高山市長)

2 組織動向

(1) 沿革		
設置経緯	<p>○2015年10月策定の「高山市まち・ひと・しごと総合戦略」で掲げられている「大学連携の推進」を実現するため、その在り方についての検討を開始した。</p> <p>○2017年3月に、市が連携協定を締結している大学等から意見を聴取した。</p> <p>○2017年4月に、大学連携担当監を配置し、6月に一般財団法人として設立した。</p>	
見直しの動向	—	
役割(2021年時点)	大学の高度な知見を活用した自治体シンクタンク事業並びに大学などの様々な活動を誘致・支援する大学コミッション事業を専門的に実施することにより、行政課題の解決や地方創生を担う人材の育成、若者のUIターンや地元定着を促進する。	
(2) 組織体制		
設置形態(択一)	<input type="checkbox"/> 自治体の内部組織 <input type="checkbox"/> 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="checkbox"/> 大学の附置機関 <input type="checkbox"/> 広域連合 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)	
常勤職員数	2人	
うち常勤研究員数	2人	
非常勤研究員数	0人	
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 専門的な知識を有した研究員の採用 <input type="checkbox"/> 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特に行っていない	
庶務体制	常勤職員及び庶務専従者(非常勤職員)が対応	
市民参加、外部連携	調査研究ごとに専門的な知見を持つ大学と連携して実施	
(3) 会計		
会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2022年度予算	15,510 千円	
2021年度決算	12,810 千円	
2020年度決算	8,985 千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	補助金等収入
	2位	事業収入
	3位	
	4位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	

3 活動動向

(1)活動実績	
定期刊行物	なし
(2)活動のマネジメント状況	
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市からの要請 <input type="checkbox"/> 外部有識者等からの助言・示唆 <input type="checkbox"/> 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input checked="" type="checkbox"/> 貴団体・組織で自ら発案 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
イ 情報発信 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input checked="" type="checkbox"/> 報告会を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニューズレター等で周知する <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特に行ってない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input type="checkbox"/> 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input type="checkbox"/> 外部有識者から評価を受けている <input type="checkbox"/> 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特にそういう機会はない

4 特記事項

研究員の業務分担	調査研究テーマごとに業務を分担している。
研究員の専門性 育成の手立て	大学の教授等と連携して調査研究を行うことにより、調査研究に関する基礎情報の把握やノウハウなどの習得、政策形成能力の向上を図る。
研究員のキャリアパス等	常勤研究員 A) 高山市海外戦略部→高山市久々野支所→当センター(派遣)→高山市市長公室 B) 高山市福祉部→高山市農政部→当センター(派遣) C) 高山市市民保健部→当センター(派遣)
その他	

5 2022年度に実施した調査研究

調査研究名	調査研究の概要
持続可能な観光まちづくりに 関する調査研究	少子高齢化や人口減少などによる地域の維持と次世代への継承、また観光地としてのより魅力的な観光地づくりなどの課題を解決するため、活力あふれる持続可能な地域の実現に向けて、社会・環境・経済の三側面の調和のとれた発展による持続可能な観光まちづくりのあり方を研究するとともに、モデル地区において具体的な観光まちづくり活動を実践する。 <input type="checkbox"/> 専門家による現地調査 <input type="checkbox"/> 地域住民との意見交換会
飛騨高山ブランドの新製品 開発に向けた都市生活者 ニーズ調査研究	都市生活者の求める製品化ニーズをアンケート調査で明らかにするとともに、シーズとニーズを融合させた都市生活者の満足度が高い飛騨高山ブランドの製品像を見出し、木材等の独自素材と伝統的技術を活用した新しい製品の像を具現化することにより、地域の活性化と持続可能なまちづくりを実現する。
岐阜県中部山岳国立公園及 びその周辺地域を活用した 調査研究	中部山岳国立公園の魅力を広く周知し、観光誘客や自然保護意識の醸成に繋げることを目的に、地元小学生・中学生・高校生や全国の大学生及び企業などから、岐阜県内の中部山岳国立公園及びその周辺地域の活性化プログラム研究を募集するとともに、その成果の発表や当該地域をフィールドに活動している大学研究者等による研究成果の報告を行う発表会を開催する。 <input type="checkbox"/> 応募のあった調査研究の成果は、第4回飛騨高山学会(令和4年12月11日開催)の自然環境分科会で発表
ヘルスツーリズムの推進に 関する調査研究	地域固有の資源を活かし、多様なニーズに応じた付加価値の高い観光サービスを提供することを目的として、飛騨高山版ヘルスツーリズムの構築に向け、各地域に存在する地域資源を調査するとともに、目指すべきヘルスツーリズムのあるべき姿(テーマ、ブランディング、実行体制など)を策定する。 <input type="checkbox"/> 専門家による現地調査、ヒアリング調査 <input type="checkbox"/> 資料調査 <input type="checkbox"/> 成果報告会の開催